

# こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！ 京都市議員



発行：2018年6月24日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

## 屋根瓦、外壁… 切実な声次々

▶屋根にブルーシートを被せたままの住宅も多数残っている。



7月2日、市議員団は、6月18日朝に発生した大阪北部地震の被害地の現地を訪問、調査をしました。西野さち子市議も参加しました。

屋根にブルーシートのかかっているお宅や、まだ手付かずの被災宅が軒並みです。「京都市からは何も言ってこない」「罹災証明を申請したいと役所に相談したら、申請しても何も支援はないと言われた」「区役所は遠くて行きにくい。目の前の出張所に申請用紙を置いてほしい」等の声が次々出されました。支援の説明や申請用紙を手渡すと大変喜ばれました。屋根瓦がずれているだけでなく、ブロック塀が傾いているお宅や壁が落ちているお宅もありました。どこのお宅も高齢者が多く、早急な支援が必要です。

伏見各地で  
**深刻な地震被害**！  
共産党市議団 淀地域で緊急調査

## 共産党市議団 地震被害対応へ第2次申し入れ 伏見の被害把握と支援に特別態勢を

日本共産党市議員団は、淀地域の現状調査の直後に改善を求めて第2次の申し入れをしました。

伏見区など住宅被害の集中している地域の対策として、罹災証明の発行を早急に行う事や、行政職員が直接訪問し支援制度の説明や相談に乗ること。淀、神川出張所に申請書類を配備し、罹災証明の発行や相談業務体制をとることなどとともに、京都府は木造住宅耐震改修工事補助制度の要件緩和を行いましたから、京都市でも制度を早急に具体化すること。市の助成制度の上限額を引き上げる等柔軟な運用で、より多くの被災者を対象とする制度とすること等も申し入れをしました。委員会質問を受けて、消防局からブルーシートの提供を準備しているとの答弁がありました。



### 議員日誌

### 大雨視察 (醍醐・小栗栖・桃山南)

7月4日から降り続いた雨で、大雨警報と同時に避難指示や避難勧告が立て続けに出されました。西野市議は他都市調査を切り上げて伏見に戻り、荷物を置いてすぐに地域全域の様子を見て回りました。

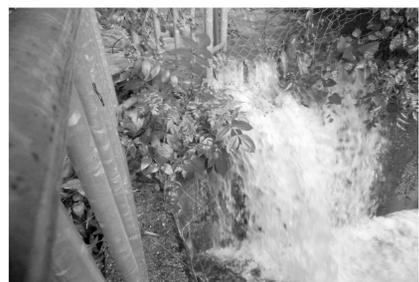
開設された4か所の避難場所を訪問し激励。春日丘中学校横の元新池の場所では、上から川のように水が流れ、雨が轟音を立てて水路を流れていました。端山団地の山際では、山の中に川ができ、水路にかぶさるように水が勢いを増して流れていました。住民の方は「以前の大雨で道に流れ出した。土囊があるので助かっているがなければ道が川になる」と心配そうに見ておられました。



▲中山団地の法面からあふれ出した砂



▲大量の雨水が流れる春日丘中横の元新池



▲端山団地の山際。山の中から吹き出すように水路に流れる



▲水かさを増して濁流となった北醍醐高川